

令和3年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	お手玉作りボランティア
2	実施社会福祉協議会	小鹿野町社会福祉協議会
3	協力団体	お手玉サロンの活動者
4	活動年月日	令和3年8月3日 他5日間
5	活動場所	小鹿野町長寿ハウス
6	内容	お手玉作り

7 活動の様子

コロナ禍で、いきいきサロンが実施できない中、何かサロンができないかと考えて始めたお手玉サロン。ご近所の高齢者が数名で集まり、密を避けながらお手玉を作っている中で、お手玉を作ることやお手玉遊びを後世に伝えていきたいというひと言から、学生さんに教える機会を設け、始まったボランティアです。参加した学生さんは、ほとんどが初めて作る人ばかりで、教える側は、教えがいがあると大喜びでした。



学生からは、

「初めて知った縫い方があり、とても良い経験になった。」「教えてくれた先生がわかりやすく親切丁寧に教えてくれて嬉しかった。」「今度はおばあちゃんと一緒に作りたい。」

「なかなか地域の人とかかわる機会がなかったので、とても良い経験になりました。」などの感想をいただき、指導者に当たった活動者からは、「孫の世代との交流ができて本当に楽しかった。」「若返ることができた。」など心温まるボランティア活動だったと感じました。

令和3年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	災害への備えを学習しよう
2	実施社会福祉協議会	小鹿野町社会福祉協議会
3	協力団体	日本赤十字社埼玉県支部 小鹿野町日赤奉仕団
4	活動年月日	令和3年8月6日
5	活動場所	小鹿野町けんこう交流館
6	内容	災害時のいのちや生活をつなぐための学習

7 活動の様子
日本赤十字社埼玉県支部の防災セミナーを利用し、防災に関する知識を身につけてもらうよう企画。日赤埼玉県支部の職員を講師に招き、「災害からいのちを守る、そのための備え、暮らしをつなぐ」などの講義を受けました。災害はいつどこで起きるかわからない、そのための備えが大切であることや、万が一被災したときの不自由な環境での生活の話など、学生も奉仕団員も熱心に耳を傾けていました。最後に、コロナ禍での感染予防対策や、避難所の感染対策の事例も話していただきました。



参加した学生からは、

「改めて、災害時について学ぶことができ、とても良かった。まだまだ知らないことがたくさんあるけれど、今日学んだことを活かしたいと思った。自分たちにできることを考えて行動したい。」

「災害や、コロナの感染予防の大切な知識を身につけることができました。地域の中でお互いに助け合えるよう情報を共有し、伝えていくことが大切なんだと思いました。」

などの感想をいただき、コロナ禍でセミナーを実施するか迷いましたが、やって良かったと思っています。